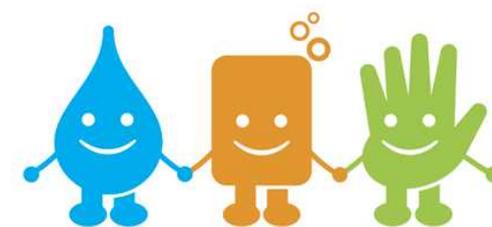


2021年4月30日(金)
千葉県感染症リーダー研修



Global Handwashing Day
October 15
<http://www.globalhandwashingday.org>

生活支援準備

スタッフが減った時の食事・清掃・廃棄物処理など

千葉県循環器病センター 医療安全管理室
感染管理認定看護師 大塚 モ工ミ

高齢者施設へのクラスター派遣を通して感じている事

・クラスター対応と災害対応は似ている

- ・日頃の想定や準備が非常に重要

・法人・施設の方針が、感染対策や対応に影響している

- ・物品の準備
- ・外部委託業者との調整
- ・提携医療機関との調整
- ・職員のトレーニング
- ・人員の確保

感染症リーダーの役割

高齢者施設・事業所において、
日常の感染症防止対策を実施するとともに、
新型コロナウイルス感染症発生時には
保健所との窓口となり、
感染拡大防止を行いつつ、
業務継続を行う際の中心的役割と担う

災害とは

- 異常な自然現象や人為的原因によって、人間の社会生活や人命に受ける被害（広辞苑）
- 人命や社会生活に対する広範囲な被害を生じる現象であり、社会機能の崩壊を伴い、コミュニティの能力では解決しえない状態（日本災害看護学学会HP災害看護関連用語（案）より抜粋）

⇒ クラスタが発生すると、主に人員や物品の不足が起こり、施設機能が著しく低下する

職員が濃厚接触者となると、原則、自宅待機となる 判断のポイントは「マスクの着用」と「眼の粘膜保護」

マスクを着用していない陽性者との接触

接触時の状況	曝露リスク	健康観察	就業制限
何も着用していない	高リスク	積極的	最終曝露から 14日間
サージカルマスクは着用しているが眼の防護なし	中リスク		
サージカルマスクと眼の防護もしているが、ガウンや手袋着用なし	低リスク	自己	
推奨されているPPEを全て着用		自己	なし (大量のエアロゾル発生行為があれば14日間)

マスクを着用している陽性者との接触

接触時の状況	曝露リスク	健康観察	就業制限
何も着用していない	中リスク	積極的	最終曝露から 14日間
サージカルマスクは着用しているが眼の防護なし	低リスク	自己	なし (体位変換やリハビリなどの広範囲の身体的接触があった場合は中リスクとして14日間)
サージカルマスクと眼の防護もしているが、ガウンや手袋着用なし	低リスク	自己	
推奨されているPPEを全て着用	低リスク	自己	なし (大量のエアロゾル発生行為があれば14日間)

濃厚接触者の職員の勤務について

• 原則、自宅待機

- ただし、職員数が大幅に減少し、入所者の生命や健康に影響する危険があれば、保健所の許可のもとで業務を継続することもある
- 少なくとも以下の条件は揃えることが必要と考える
 - 濃厚接触ではない職員と、休憩室や更衣室を分ける
 - 健康管理を徹底し、体調不良時は出勤せず、検査を受ける
 - 本人の同意があること
 - いつ発症するかわからないため、常時マスクを着用し、手指衛生の実施など、濃厚接触者の職員自身が、適切な感染予防策が実施できること
 - 利用者に直接接触する業務は避けるもしくは濃厚接触者や陽性の利用者の対応をする

施設機能を維持するためのマネジメント

「現状の分析」と「対応の方針」を施設内で共有することが重要
⇒施設内の主要な職員と一緒に情報を整理する

- 指揮命令系統
 - ・ 定時ミーティング
- 感染状況
- 医療提供と健康管理
- 感染制御
- 人的資源管理
- 物的資源管理
 - ・ PPE在庫状況と消費量、物品確保
- 搬送・戻り搬送
- 環境整備
 - ・ 給食、廃棄物、洗濯、リネン、清掃
- 職員のケア
- その他
 - ・ リスクコミュニケーション、家族対応

入所者の生命や健康を守るために、 業務の優先順位と変更できるポイントを考える

- 感染拡大防止策を取りながら、少ない職員で入所者にケアを提供する必要があるため、日頃から話し合いをしておく
- 健康観察期間が長いので、継続可能な対応を考える
(例) ポータブルトイレの利用時の処理は災害対応
リユースオシボリの使用や介助での手洗い⇒使い捨てオシボリへの変更

食事	排泄ケア	口腔ケア	清拭・入浴
リハビリテーション	デイサービス	リネン交換・洗濯	清掃など

食事・おやつ・水分の提供

- 感染リスクが高いのは、唾液が付着している食器の回収時
- 洗浄時の飛沫・接触予防策が適切に行われないと感染リスクがある
- 食器は適切に洗浄されれば、感染拡大のリスクは低い

- 現状では、
 - 陽性者が発生した部署の食器は使い捨てを使用することが多い
 - 食べ残しはビニール袋にいれて口をしっかりと縛って捨てる

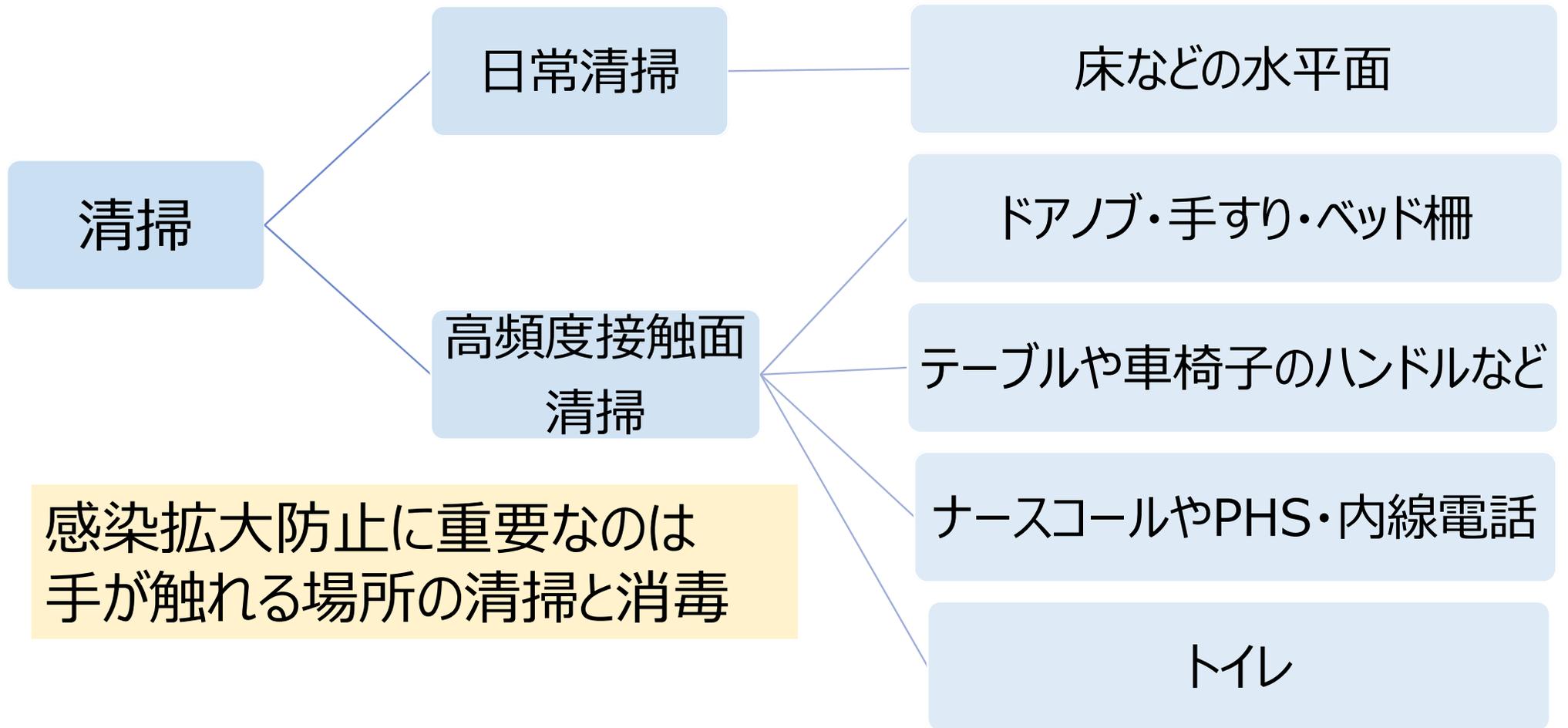
廃棄物の取り扱い

- 自施設のゴミの回収方法を確認する。
 - 事業系廃棄物⇨契約業者に、発症者が出た際の回収ルールを確認
(例) 72時間保管した後に回収
ゴミ袋を2重にして表面を消毒 等々
 - 一般廃棄物⇨自治体にゴミの出し方を確認
- 回収する人の安全を考えることも必要
- 色々な物品を使い捨てにするので、ゴミの量が増える

洗濯・リネン取り扱い

- 利用者の衣類
 - 一般的な洗濯洗剤で洗濯し、十分乾燥させる
 - 衣類はベッドサイドでビニール袋に入れて、直接触れないように洗濯機に入れる
- シーツなどのリネン類
 - 一時消毒を求められることもあるが、職員が少ない時は現実的に対応できないこともあるため、予め確認しておく
 - (対応例) 2重にした専用ビニール袋に入れて72時間後に回収
専用ビニール袋と水溶性ランドリーバックに入れて1週間後に回収
- 衣類やリネンを直接取り扱う時は、PPEを着用する

清掃



感染拡大防止に重要なのは
手が触れる場所の清掃と消毒

清掃：陽性者や濃厚接触者エリアの清掃はPPE着用で行う

• 床の日常清掃

- 人手の少ない時は、ホコリを使い捨てフローリングシートモップなどで除去し、汚れている場所を住居用洗剤で拭き取り清掃するのが現実的
- 消毒薬を環境に霧状にして噴霧しない

• 高頻度接触面の清掃 **重要！**

- いきなり消毒は汚れの存在によって、消毒効果が低下する
- 洗剤で汚れを拭き取ってから、アルコールや次亜塩素酸ナトリウム等で消毒をする
- 洗浄と消毒が同時にできる商品がある
 - ウエットティッシュ状の商品：簡便に使えるがコストがやや高
 - 希釈して使用する商品：(例)0.5%加速化過酸化水素（AHP）
消毒～清掃まで濃度を変えて使うことが可能
マイクロファイバークロスやモップと併せて使うと効果的
クロスやモップの洗濯の手間はあるが長期コストにメリット

ここまでのまとめ

- 感染者が発生した時のことを想定して日頃からの準備が必要
- 少なくなった職員で実践可能な業務内容を考えておく
- 入所者の生命や健康を守るための最優先業務の継続
 - 食事・水分・おやつの提供
 - 口腔ケア・排泄ケア
 - リネン・衣類の洗濯・清掃
- 外部委託している業務は契約内容を確認して調整しておく

新型コロナワクチンについて

・厚生労働省 新型コロナワクチンQ&A

▼ 本文へ

文字サイズ変更 標準 大 特大

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare
新型コロナワクチンについて

新型コロナワクチンQ&A

検索 メニュー

ロナワクチンナビ
コロナワクチンの接種会場を探したり
接種を受けるかなどの情報をご提供しています。

動画で、新型コロナワクチン
受ける流れについて
6つのステップでご説明して

動画を見る

4/12 新規Q&Aを追加更新しました。

新型コロナワクチンの特徴

- 新型コロナワクチンには、重症化を防いだり、発熱やせきなどの症状が出ること（発症）を防ぐ効果があります。接種を受けることで、重症者や死亡者が減ることが期待されています
- 接種後の副反応として、接種部位の痛み、頭痛・倦怠感、筋肉痛などが報告されているほか、ごくまれに、接種後のアナフィラキシー（急性のアレルギー）が報告されています
- 日本で受けられるワクチン
 - ファイザー社（米）のmRNAワクチン
 - 接種回数：2回
 - 接種間隔：21日間隔

【参考】

ワクチンを接種する人（注射を打つ）の人のPPEは手袋とサージカルマスクで十分です。
ガウンは必要ありません。

新型コロナワクチン接種後の感染対策

- 新型コロナワクチンは、重症化や発症を防ぐ効果があることがわかっているが、新型コロナウイルスに感染することを防ぐわけではない。
- 今までも、「症状のない感染者」がいることはわかっており、「症状のない感染者」でも、「ウイルスは排出されている」ことから、
今までの感染対策の方針は大きく変わることはないと考えられる。

新型コロナウイルスの流行は続きますが、
正しい知識と対応で乗り越えていきましょう

知らないうちに、広めちゃうから。



感染拡大が生じた病院や施設で亡くなられる方の 5パターンと必要な対応

1. 恐怖→混乱→システム崩壊による平常の医療、介護が提供できないことによる死亡
2. 職員負担の増加、感染による職員の減少に伴う、需給バランスの崩壊による医療・介護ケアの質の低下による死亡
3. 新型コロナ肺炎の典型的な経緯による死亡（7日で重症化、10日で死亡）
4. 状態が悪く何かの侵襲があれば亡くなるケースでの死亡：最後の一滴死亡
5. 新型コロナ感染者のそれ以外の疾患を原因とした死亡

**体制を確立し
資源調整を行う
災害医療対応が必要**

**感染を広げない
感染管理対応が必要**

**尊厳ある死亡を守る
ための対応が必要**